



エコ発信局 ～いそちゃんの部屋～

ここでは、身近なところから環境意識を高めようと、エコに関する豆知識を発信しています。季節やブームなどに合わせて、月に一度のペースで更新していきますので、継続してお読みいただければ幸いです。

(「いそちゃん」とは執筆を担当する千葉大学環境 ISO 学生委員会のキャラクターです)

vol.3-2017年11月 秋にできる省エネ②



エコなドライブを心掛けよう！

秋が深まってきたこの時期、紅葉を見るために車で行楽地へ出かける方も多いのではないのでしょうか。車を運転するときに、簡単な「エコなドライブ」を心がけることで、車の燃費を上げることができます。その代表的な方法をいくつかご紹介したいと思います(*1)。



1 車の燃費はそもそもどれくらい？

現在販売されている普通自動車の平均の燃費の中は 20km/L 前後となっていますが、最も燃費が良いとさせる車種の燃費は 37 km/L となっています。このように車種によっては、大きく燃費に特化したものが存在しているのです。



2 ゆっくり発進を心掛けよう！

車を発進させるときに、急に発進させるのではなくゆっくりとアクセルを踏むことで約 10%の燃費を改善することが可能です。また、焦らずに発進させることができるので、安全運転にもつながります。このようにゆっくりと発進させることを「ふんわりアクセル e スタート」とよびます。



3 タイヤの空気圧に注意しよう！

タイヤの空気圧が適正の空気圧よりも低い場合、これまた多少なり燃費が悪化してしまいます。タイヤの空気圧を定期的を確認することが大切です。また、タイヤの空気圧だけではなく、エンジンオイルやオイルフィルターの定期的な交換も燃費の向上に大きく関わってきます。



4 渋滞をなるべく避けよう！

車で出かける前に、あらかじめ渋滞情報をチェックしておくことで、時間も燃費も節約にもなります。1時間のドライブで、道に迷ってしまい 10 分間余計に走行すると 17% 程度燃料消費量が増加してしまうそうです。



車とうまくつきあっていこう！

確かに車は便利な乗り物ではありますが、環境に対してはどうでしょうか。車が1人の人間を、1 km運輸するのに発生する二酸化炭素排出量は 165 g(*2)と、交通手段の中で1番多い排出量です。そこで、車とうまくつきあうポイントをご紹介しますと思います。



1 公共交通機関を使おう！

バスや電車は車に比べ、大きく環境に配慮した乗り物です。1人の人間を、1 km運輸するのに発生する二酸化炭素排出量(*2)は、バスでは 48g、電車では 18g と車に比べ大幅に減っています。

2 徒歩や自転車を考えよう！

近くへ出かけるときは車を使わず、なるべく歩いたり自転車を使うように心がけましょう。

3 分乗は避けよう！

複数の人でどこか出かけるときに、多くの車に分かれて乗るのではなく、一緒の車で乗って出かけるように心がけましょう。

4 用事は1度で！

どこかへ出かけるときは、なるべく1度で済ますようにしましょう。そうすることで、車の利用回数を減らすことができます。

ウォームビズを紹介！

環境省では、「COOL CHOICE」とよばれる、生活における地球温暖化対策として「賢い選択」を促す運動を推進しています。その一環として、毎年11月1日から3月31日までに実施している「ウォームビズ」について、来年3月まで毎月ご紹介したいと思います。今回は、「エアコン」についてご紹介します。

暖房を23°C以上に設定している企業は、約50%(*3)あるという現状です。設定温度を23°Cから20°Cに変更することにより、暖房の消費エネルギーを約2割減らす(*3)ことができます。このような小さな取り組みが「ウォームビズ」につながるのです。



*1 出典：環境省 HP

*2 出典：国土交通省 HP

*3 出典：省エネルギーセンターHP